

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤				Ge	JISC7622:2002 最新版は IEC 60155:1993+A1:1995+A2:2006。 A2 は適用しなくてもよいか？（A2 では Starter contacts に関して要求が追加されている）		このままとします。 コンタクトの溶着問題は、欧州の事故例として顕在化してきた案件に起因し、審議時に日本の実態・スペック資料を提供してきた。その間、国内での事故例は顕在化していないため、AMD2 発行後の 2009 年、2014 年、2019 年時の見直しも同様の対応としてきた。最近、新規の販売も非常に小さくなっている。
加藤	67			Ge	IS C 7623:2019 最新版は IEC 61167:2018(4th)+A1:2018。 JIS の版は 3rd、版遅れであるが、改正不要？		このままとします。 2019 年改正時に国内事情を反映したものとし、それ以降の国内販売の機種仕様変更や技術の動向がないため対応国際規格の導入を見送っている。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	全体			ed	追補でよいのか? 対応版が 2nd から 3rd に変更、現行 JIS の実質内容 11P に対し 5P の追補となっている	追補から改正とする	原案どおりとします。 2022 年 2 月のこの委員会で、追補改正の承認をいただいております。 次回の改正で対応します。
西原		電気分野産業標準作成委員会 委員構成表		ed	本件の報告書記載の委員構成表だけ、前任の窪田が記載されています。何か理由がありますか?なければ、訂正願います。		このままとします。 この JIS の改正着手について、2022 年 2 月の委員会でご承認をいただきましたが、その時点では窪田様にご審議いただきました。
岩本				Ge	75 ふっ素系樹脂 は フッ素系樹脂とカタカナ表記ではないでしょうか。		ひらがなで記載します。 JISC の DB では、288 件がひらがな、カタカナは 5 件でした。
若月				Ge	1. 意見受付に関する内容 の修正内容 申し出を検討し電気抵抗値を変更したとありますが、これまではその社の製品は以前から市場にあったが、ドイツ製のため JIS 規格には則っていないかということでしょうか。 変更後の値は従前のほぼ 2 倍以上になっていますが、これは何に由来しているのでしょうか。 検討の結果ということで、変更の問題はないのだと思いますが、上記について教えていただきたいとおもいます。		当初は新たに追加した種類以外は、2012 年の数値としていました。意見提出企業の日本市場への参入は、2012 年以降ときいています。今回の改正をきっかけに意見申出をしたそうです。(なお、この JIS は強制法規の引用規格でないため、適合しない製品を販売しても問題はありませぬ。) 具体的な値は、JIS C 2533 熱電対用補償導線心線 (1999 年廃止) を算出根拠として再計算を行いました

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2023/12/06	規格番号: C1610	プロジェクト:
----------------	-------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							た。再計算した値と海外材料メーカーの調査結果を踏まえた数値を今回の値としました。
若月	67		表 4	Ge	表中の数字の小数点以下の桁数が何通りかありますが、表示のルールはどうなっているのでしょうか。 特に<RCA,RCB,SCA,SCB> の<1.5>のところの「0.13」	0.130 ?	有効数字 2 桁とします。 次に修正します。 <1.25>0.16 <1.3>0.15 <1.5>0.13 (そのまま)

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	100	7.1		ed	製造業者や受渡当事者間で決められることを意図しているならそのまま。規格等で決めることを意図するなら、“規定”とする	指定 → 規定 ?	ご指摘どおり修正いたします。
加藤	106-108	7.2 表 0C		ed	JISC2150:2003 の 5.2 の表 1 に全く同じものが記載されているので、転記する必要はないのでは (この規格だけ見れば、C2150 を一切見ないでよいことを意図しているのか? C2150 の廃止が予定されていたり、表 0A や表 0B のように、本文等を表形式に纏めなおす上で追加する分には構わないと思うが)	5.2 に基づいた表 0C による。→5.2 の表 1 による。 表 0C 削除	対比表にも記載していますが、JIS C 2150 の 5.2 の上限を削除し、450 超えとしたため、「5.2 に基づいた表 0C による。」としました。したがって、原案どおりとさせていただきます。
加藤	118	8.2			絶縁耐力測定においてデビエーションとして金属電極法も許容しているが、巻回式コンデンサ法との測定値の精度差等はないと考えてよいか?		ご理解のとおり測定値の精度差はありません。
加藤	152-155	8.9		ed	JISC2151:2019 の箇条 9 にも同様の式があるので、ここで記載する必要はないのでは C2151 を引用する箇所はこの規格の多岐にわたり、C2151 を見ないとこの規格は成り立たないので、IEC 60674-3-1 に記載している事項はともかく、それ以外は C2151 の内容をこの規格に転記する必要はないのでは?	151 行目→ 箇条 9 に従って測定及び計算する。 152-155 行目削除	ご指摘のとおり、式はなくても構いませんので、対応国際規格に合わせ、削除いたします。
加藤	188	箇条 10			一部の項目を省くことが可能であるとあるが、特に必須の表示はないのか? (協定により、全ての表示が省略可となるのか?)	?	受渡当事者間の協定によるので、必須項目は定めておりません。「一部の項目を」としているのので、全ての項目を省くことはございません。
加藤	193	箇条 11			一部の項目を省くことが可能であるとあるが、特に必須の規定はないのか? (協定により、全ての規定が省略可となるのか?)	?	受渡当事者間の協定によるので、必須項目は定めておりません。「一部の項目を」としているのので、全ての項目を省くことはござい

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							ません。
加藤	234	対比表	9.1		9.1a)に点線下線及び表 3A があるが、対比表に記載がない。記載は不要か？	必要であれば対比表に記載	対比表,9.1 の内容及び理由に以下 (赤字箇所) を追記いたします。 a)及び b)の内容をわかりするため表形式にし、表 3A 及び表 3B としたが、技術的差異はない。 また、幅 150 mm 以上の測定方法として JIS C 2151:2019 の 7.3 の A 法を追加した。
西原	127				確認ですが、「審議で問題になった点」では、国際規格では、105℃の規定があるが測定精度に課題があり、規定見送りとしていますが、継続した課題として、国際規格に寄せる方向になるのでしょうか？教えてください。		ご理解のとおりです。継続して検討してまいります。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条*(e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	114-115 120-121 123-124	6.1 6.3 6.4		ed	“規定する測定精度から指定する測定精度に”とあるが、何を意図しているのかが分かり辛い	規定する測定精度から製造業者が指定する測定精度に → 規定する測定精度及び製造業者が指定する測定精度に	ご指摘通り修正いたします。
加藤	131 155	7.2 a) 8.3 c)			IP の第一特性数字も規定しているが、規定の必要はあるか？（防水性能しか要求していない。ただし、一般的な防水なしの機器は IP20 なので、おおよそ問題はないと思われる）	IP21 → IPX1	IP21 の 2 の部分は『直径 12.5mm 以上の大きさの外來固形物に対して保護されている。大人の指での危険個所への接近に対して保護されている。』となっていて、装置として必要な条件ですので、防水だけではなく、固形物の進入も防ぐため、7.2a)から『防水』を削除して『保護等級に適合しなければならない』に修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条*(e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	93-96	箇条 2			97 行目で C61326-1:2022 の箇条 2 を適用することとしている。そうすると、C61326-1 の定型文も一緒に引用してしまうので、その部分を置き換える必要があるのでは？	C61326-1:2022 の箇条 2 の定型文（第 1 段落？）をこの規格の 93-36 行目に置き換える文章を追加する 又は 97 行目を先に持ってくる（“次によるほか” の文章があるため、置き換えているようにも読める）	ご指摘に従い、97 行目を先にもってきて、次に書換えます。 「引用規格は、JIS C 61326-1:2022 の箇条 2 の前置き文を次に置き換え、さらに次の引用規格を追加して適用する。」 なお、今回の箇条 2（引用規格）の記載方法は、Z8301 に規定がありません。Z8301 の検討の後は、その結果に従います。
加藤	164-167	6.4.2.101			6.4.2.101 は性能評価基準 A の一部であり、C61326-1 の 6.4.2 の性能評価基準 A と同時に満たさなければならないと考えてよい？ （C61326-1 の 6.4.2 の項目名と同じため、置き換えるような印象も受ける）		同時に満たすものです。 6.4.2.101 は 6.4.2. に追加された細分箇条と記載されており、判定に不確かさを追加するもので同時に満たさなければならない。
加藤	180	附属書 A			155 行目 (6.2) で C61326-1:2022 の表 A.1 を適用するとある。附属書自体は適用しないが、表 A.1 だけは適用するということか？		ご理解のとおりです。 附属書 A は適用しないが、6.2 で表 A.1 を適用します。
西原	133、137				確認です。125 行目の試験及び測定用の I/O ポートの図 注) EM クランプ（必要な場合。複数の場合がある）と記載されています。左記の 133、137 行目の図のおける注記では、「必要な場合。」のみで、「複数の場合がある」は記載されていませんが正しいのでしょうか？素人考えで、恐縮ですが、同じような図だったので、確認です。		（133、137 行目）図 102 及び図 103 の注に誤りがあり、次に修正します。 <誤記>注 a) 減結合回路網（必要な場合。複数の場合がある。） <修正>注 a) 減結合回路網（必要な場合。）

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2023/12/06	規格番号: C61326-2-2	プロジェクト:
----------------	------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条*(e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							<誤記>注 ^o EM クランプ (必要な場合) <修正>注 ^o EM クランプ (必要な場合。複数の場合 がある。..)

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C61326-2-3	プロジェクト:
-----	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	82-83				この規格はトランスデューサ自体を規定する規格のように読める	この規格で規定するトランスデューサは、交流若しくは直流…駆動することが可能である。 → この規格は、交流若しくは直流…駆動することが可能なトランスデューサに適用する。 又は この規格で対象とするトランスデューサは、交流若しくは直流…駆動することが可能なものである。	このままとします。 82-83 は、 79-81 で規定した、この規格を適用するトランスデューサの説明です。 今の文章でも誤解はないと考えます。
加藤	98				能動態に	規定されている → 規定している	コメントのとおり修正します。
加藤	111-112				114 行目で C61326-1:2022 の箇条 2 を引用しており、 C61326-1:2022 にも同様の文章があるので、不要では（書きぶりは少し異なるか、いずれも西暦年付記の引用規格しかないので、同じ定型文になるはず）	111-113 行目の定型文を削除	コメントのとおり修正します。
加藤	159 161	5.2 5.2.1			159 行目では“5.2.1 を置き換え”とあり、161 行目では“次の事項を追加して”とあり、置換なのか追加なのか判り辛い	置換の場合：161 行目を削除 追加の場合：159 行目を“次によるほか、 <u>JSIC61326-1</u> の 5.2 を適用する”とする	5.2.1 は置換であり、5.2.1 には C61326-1 の 5.2.1 から追加がある。 分かり易くするため、159 行目をご指摘どおり修正します。 “次によるほか、 JIS C 61326-1:2022 の 5.2 を適用する。”
加藤	234				この 1 文は、附属書 A の代わりに附属書 AA を適用するという意味か？違うなら表現を変える。附属書 AA 以降を追加する旨を意図するなら、附属書 AA だけではなく、附属書 BB、附属書 CC も追加する表現にする	？	附属書 AA 以降を追加する意図です。次に修正します。 “次の附属書 AA、附属書 BB 及び附属書 CC を追加

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							する。”
加藤	235				C61326-2-2 では、C61326-1:2022 の附属書 B を参照する一文があるが、この規格では不要か？	必要であれば、C61326-1:2022 の附属書 B を参照する文章を追加	不要です。
加藤	275	AA.3			“許容する場合がある” とあるが、許容しない場合があるのか？	許容する場合がある。 → 許容する。	英文 it may be acceptable であり、 it is acceptable ではありません。 ソフトウェアで測定条件を変更するなどは、許容されない場合があると考えます。原案の続く文で、`測定条件を変更した理由を試験報告書に記載し、妥当性の根拠とする。` とあり、変更理由が妥当でない場合、測定結果は受け入れられない場合があると考えます。
加藤	291	BB.1			一般的な圧力トランスデューサの説明なのか、この附属書を適用する圧力トランスデューサの説明なのか判り辛い。適用する圧力トランスデューサについての説明なら、修正を	圧力トランスデューサは、少なくとも次の部分からなる。 → 少なくとも次の部分からなる <u>圧力トランスデューサに適用する</u> 。	290 の圧力トランスデューサの説明であり、290 から、この附属書を適用する圧力トランスデューサであることに誤解はないと考えます。
加藤	323	BB.3			AA.3 と同様に “許容する場合がある” とあるが、許容しない場合があるのか？	許容する場合がある。 → 許容する。	原文どおりとします。 AA.3 と同じ理由です。
加藤	336	CC.1			BB.1 (291 行目) と同じく、一般的な温度トランスデューサの説明なのか、この附属書を適用する温度トランスデューサの説明なのか判り辛い。適用する温度トランスデューサについての説明なら、修正を (341 行目も同様)	温度トランスデューサは、少なくとも次の部分からなる。 → 少なくとも次の部分からなる <u>温度トランスデューサに適用する</u> 。	335 の圧力トランスデューサの説明であり、335 から、この附属書を適用する温度トランスデューサであることに誤解はないと考えます。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C61326-2-3	プロジェクト:
-----	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
西原	136			ed	138 行目の注釈では、(公称)レンジと記載されているが、136 行目はレンジ (range) ですが、(公称)レンジとしなくて良いのでしょうか? 271 及び 321 行目でも公称レンジと記載されています。		対応国際規格どおりで、用語 3.104 はレンジ (range) を定義しており、公称は不要です。 註釈では、レンジ又は公称レンジの表現方法を示しています。
西原	313			ed	313 行目図の記号説明の 6 絶縁支持台 注記で、「基本規格を参照」とありますが、旧の規格のように「EMC 基本規格」の方が明確のように思えますが、何か意図がございますでしょうか? 同様な記載は、362 行目 記号説明 4、絶縁支持台、365 行目 記号説明 4、絶縁支持台の () 内記載も同様です。		対応国際規格では、 ^o basic standard” が使われており、則した訳語を使用しました。EMC 関係の規格群で basic standard は EMC 基本規格であることは認知されていますが、記載した方が明確であるので、EMC” を追加します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。